

この説明書は服用前に必ずお読みください。

薬師鎮痛薬a

第2類医薬品

鎮痛剤

薬師鎮痛薬は、痛みの司令塔である脳（中枢神経）に作用し、つらい痛みを抑えるアセトアミノフェンの錠剤です。胃にやさしく、眠くなる成分が含まれていないのが特徴です。5才のお子様から成人まで幅広くお使いいただけます。

△使用上の注意

❌してはいけないこと（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）

1. 次の人は服用しないこと。(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。2.本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬。
- 3.服用前後は飲酒しないこと。4.長期連用しないこと。

🗨️相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。(3)高齢者。(4)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(5)次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍。
- 2.服用後、右記の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
ショック(アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をすときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3.5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この製品を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

【効能・効果】○関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛・咽喉痛・耳痛・頭痛・月経痛(生理痛)・歯痛・抜歯後の疼痛の鎮痛 ○寒寒・発熱時の解熱

【用法・用量】次の量を、水又はぬるま湯で服用してください。

年齢	1回量	服用回数
成人(15才以上)	3錠	1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は4時間以上おいてください。
11才~14才	2錠	
5才~10才	1錠	
5才未満	服用しないでください。	

【成分・分量】9錠中
アセトアミノフェン.....900mg
添加物:ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸Mg、無水ケイ酸、セルロース

【用法・用量に関連する注意】(1)用法・用量を厳守してください。(2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

【保管及び取扱い上の注意】(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に、袋のチャックをしっかりと閉じて保管してください。(2)小児の手の届かない所に保管してください。(3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)(4)袋の中に乾燥剤が入っています。服用しないでください。(5)使用期限をすぎた製品は服用しないでください。

製品についてのお問い合わせは下記にお願い申し上げます。

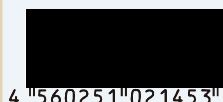
☎️ 0120-894-894 9:00-17:00(年中無休)

【発売元】株式会社日本薬師堂 東京都目黒区青葉台3-2-12

【製造販売元】小林薬品工業株式会社 岐阜県岐阜市中鞆1丁目139番地

使用期限

製造番号



【副作用被害救済制度のお問い合わせ先】

(独)医薬品医療機器総合機構
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

